

平成 29 年度

事業報告書

社会福祉法人 安芸高田市社会福祉協議会

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

目 次

■ 事業報告概要

ページ 1～4

■ 事業報告

重点取組1 社会福祉法人としての機能強化

No.		事業名		担当課	ページ
1	1-1	法人運営事業の推進		総務	1
2	1-2	社会福祉従事者の育成		総務	3
3	1-3	施設指定管理の受託運営	受託	総務	4

重点取組2 福祉のまちづくりをめざして ネットワークを活かした活動

No.		事業名		担当課	ページ
4	2-1	地域福祉のネットワークづくり		総務	4

重点取組3 団体支援や講習会などを行ない つながりあるまちづくり

No.		事業名		担当課	ページ
5	3-1	福祉関係組織の活動支援		総務	5

重点取組4 笑顔あふれる地域づくりをめざして ともに支えあう地域福祉事業

(1) ボランティア活動の推進と援助

No.		事業名		担当課	ページ
6	4-1	ボランティア活動事業		地域福祉	8

(2) 住民主体による地域福祉活動の推進

7	4-2	地域包括ケア推進事業	受託	地域福祉	10
8	4-3	ふれあいサロン事業	助成	地域福祉	12
9	4-4	ほほえみネット事業		地域福祉	13
10	4-5	障がい者地域生活アシスタント事業	受託	地域福祉	14

(3) 子育て支援の推進

11	4-6	ファミリー・サポート・センター事業	受託	地域福祉	14
12	4-7	子育て支援センター一時預り・病後児預り事業	受託	地域福祉	16

(4) 地域における権利擁護の推進

13	4-8	福祉サービス利用援助事業かけはし	助成	地域福祉	16
14	4-9	成年後見事業		地域福祉	17
15	4-10	認知症カフェ		地域福祉	17
16	4-11	資金貸付事業		地域福祉	18

(5) 身近な地域での住民のつながり 支えあい活動の推進

17	4-12	安心生活創造事業	受託	地域福祉	19
18	4-13	配食サービス事業	受託	地域福祉	20
19	4-14	家族介護リフレッシュ事業	受託	地域福祉	21
20	4-15	生活・介護サポーター養成事業	受託	地域福祉	21
21	4-16	小地域お茶の間づくり事業	助成	地域福祉	22
22	4-17	地域保健福祉事業(吉田)	受託	地域福祉	24

重点取組5 住み慣れた地域での安心生活を支える 専門的サービスの提供

No.		事業名		担当課	ページ
23	5-1	地域福祉事業(一般介護予防事業)	受託	生活福祉	24
24	5-2	介護保険事業(甲田事業所)		生活福祉	25
25	5-3	障害者自立支援事業(甲田事業所)		生活福祉	26
26	5-4	介護福祉事業		介護福祉	26
27	5-5	介護保険事業(吉田事業所・本所事業所)		介護福祉	27
28	5-6	障害者自立支援事業(吉田事業所)		介護福祉	29

重点取組6 地域の身近な相談窓口として ネットワークを活かした活動

No.		事業名		担当課	ページ
29	6-1	地域包括支援センター事業	受託	地域包括	30

平成29年度 安芸高田市社会福祉協議会 事業報告

■事業報告概要

◆はじめに

平成29年度は、組織改編を行ない、2部制による組織管理機能の強化を目指し、時間管理と業務管理の徹底および改善に努めました。

4月1日から改正社会福祉法が本格施行されたことにより、新役員選任による管理体制の変更や電子公表による事業運営の透明化に取り組みました。

また、前年度充実残余金の再投下として、社会福祉充実計画を策定し、人材雇用の推進を目的とした処遇改善事業へ投資しました。

地域福祉の中核的な推進役という、「他の社会福祉法人」とは異なる使命を果たすべく、その役割も課せられてきた時代背景の中で、社会福祉法改正により、急速に、新たな福祉経営の確立を問いただされた年でもありました。今後の地域公益事業や地域福祉活動への影響を鑑み、早急な対策として、地域福祉交流推進基金を創設、稼働させました。

また同時に、本所地域福祉課と各支所、介護保険事業専門職、包括支援センター専門職員等が、地域課題の抽出や福祉ニーズを発掘していく中で、事務局内連携のみならず、役職員との情報共有を丁寧に行ないながら、一丸となって、住民主体のコミュニティづくりや出前講座など、社協独自の事業を推進しました。

また、地域住民や福祉関係機関・団体との連携を図りながら、以下の重点取組を柱に各種事業を展開し、地域福祉の更なる充実に取り組みました。

◆平成29年度の取組

重点取組1 社会福祉法人としての機能強化

1 法人運営事業の推進

平成29年度は、組織改編を行ない、2部制による組織管理機能の強化をめざし、時間管理と業務管理に注力しました。

業務内の目標設定による労務管理や交通事故予防対策等の啓発および周知に努め、社用車の事故件数は前年対比72%削減できました。その結果、部長・課長級の時間外および全職員の時間外は、前年対比57.8%縮減し、過重労働による健康障害の防止対策に繋げることができました。

また、4月1日施行の社会福祉法改正に伴い、全般的な組織体制整備や法人の運営基盤を見直しながら、行政との人事交流の継続とパートナーシップに努めました。指導監督の下、法令を遵守し、諸会務の運行を行ないました。

2 社会福祉従事者の育成

役員の組織運営管理における各種研修やキャリア形成促進助成金制度を有効に活

用し、職員全体研修(年10回)を開催しました。また、相談窓口機能の強化として、不当要求行為等対応マニュアルの作成や顧問弁護士による法律的な視点からのリスク管理について、事例検討を深めました。

研修計画策定による計画的な専門研修や階級別研修等への職員参加を便宜し、また資格取得をめざす職員へ特別休暇の付与を行ないました。

また、人事考課制度の導入4年目となり、職員評価のあり方の見直しやコンサルタントによる労務診断、正職員専門職員登用試験を年2回実施する等、中長期的な人材雇用と人材育成の双方を視点に業務執行を図りました。

重点取組2 福祉のまちづくりをめざしてのネットワークを活かした活動

1 地域福祉のネットワークづくり

年4回の社協だより発行やホームページにより、市民に幅広く、社協事業等の福祉関連情報を提供・紹介し、町内の福祉活動の啓発を図りました。

また、役職員が直接足を運んでPR活動を行ない、社協会員の加入を促進しました。社協会費納入は4,988,000円となり、会員加入は賛助・団体を合わせ、延311会員数となりました。

重点取組3 団体支援や講習会などを行い つながりあるまちづくり

1 福祉関係組織の活動支援

日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区の事務事業、また安芸高田市共同募金委員会事務を堅実に行ないました。救急法講習の普及や災害義援金525,527円を県支部を通じて、被災地へ届けました。住民のやさしさや思いやりを届ける運動として、街頭・イベント募金では赤い羽根募金活動を役職員が一丸となって行ないました。各町の福祉委員等のご尽力により、募金額5,458,710円となりました。

また、共同募金配分金は、社協の福祉事業への充たに加え、公募・審査により、市内の住民組織6団体へ総額411,940円の助成を行ないました。

重点取組4 笑顔あふれる地域づくりをめざして ともに支えあう地域福祉事業

1 ボランティア活動の推進と援助

次世代を担う子どもたちに、ボランティアや福祉・介護の理解と実践を目的に、プチボランティアスクールの開催や、小・中学校へ職員を派遣し、高齢者疑似体験学習を行ないました。

地域の方に、福祉・介護について学ぶ機会を提供する「出前講座」を行なうため、パンフレットの作成配布や、講師派遣を行ない、地域づくりの推進を行ないました。

また、ボランティア派遣や交流活動、講演会を開催しました。

2 住民主体による地域福祉活動の推進

閉じこもり防止や、楽しく集える場である、ふれあいサロン事業では、新規サロン立上げの相談対応や助成金の増額、代表者会議での情報提供など運営のサポートを行ないました。ほほえみネット事業では、介護保険等公的サービスのセーフティーネッ

トとして、高齢者の家事援助など、ほほえみさんによる、身近な人の支えあい活動を推進しました。

3 子育て支援の推進

子育てを応援してほしい側と、子育てを応援する側のマッチング調整・支援を行ないました。交流会では、育児や生活上の悩みをお互い話せる機会として、そうめん流しやうちわ作り等企画し、30人の参加がありました。

吉田支所内の「ふわふわ」保育室では、保護者の勤務の都合や、私用により一時的に保育士等による子供の預り・病後児預りを行ない、延利用数482件の子育て支援を行ないました。

4 地域における権利擁護の推進

地域で生活している認知症の方や、家族、地域住民、医療や介護の専門職等、誰もが気軽に集まり、安心して交流を楽しむ場として認知症カフェ「あいちゃん」のホッとするカフェ」を開所しました。

福祉サービス利用援助事業かけはしの契約登録件数は38人、延支援回数4,613回となり、定期的な支援と、関係機関との連携により、専門的な支援を行ないました。

成年後見事業では、法人受任2件、延154回の支援を行ないました。また、関係機関を対象とした、ミニ講演会を開催し、20名の参加がありました。

5 身近な地域での住民のつながり 支えあい活動の推進

小地域お茶の間づくり事業では、昨年度の美土里町に続き、地域の方の理解と運営により、八千代町、甲田町、向原町で、常設型サロンを新たに設置しました。延3,323人の利用があり、高齢者の孤立化予防や健康増進を目的とした住民の集いの場として、また地域ボランティアによる自主的な活動の場として、地域課題を地域で解決していくための工夫や人のつながりが深まっています。

重点取組5 住み慣れた地域での安心感を支える 専門的サービスの提供

一次予防事業においては、地域の支え合いや担い手づくりを目的に、地域の登録支援員と一緒に取り組みを行ないました。10会場で開催し、延参加数3,603人で、前年度より345人延参加数が増えました。

通所介護事業においては、利用定員を25名から30名に増員することを目指し、ジョイサウンドの活用や新規利用のための広報活動を行ないましたが、利用者数の増にはいたらず、昨年度並みの実績となりました。

居宅介護支援事業においては、定期的な検討会を通して質の向上に努め、困難事例の受け入れや地域ケア会議参加等、積極的に取り組みました。また、社協の出前講座の講師として他機関の医療従事者(訪問看護師、薬剤師)と連携し、充実した人生にするための終活や健康増進の普及啓発に努めました。

福祉用具貸与事業においては、各支所の空きスペースを利用し、福祉用具の展示を行い、レンタル、販売のPRを行ない、顧客獲得につながりました。また、定期ミーテ

ィング等により業務課題の改善を活発に意見交換し、より多くの方が利用できるように、改善・対策に取り組みました。実績として、介護、予防とも利用者数が増えました。

訪問介護事業吉田事業所の利用者数は昨年度に比べ減となり、甲田事業所は増となりました。障害者自立支援事業においては、概ね横ばいの実績となりました。特定事業所加算の取組みや、効率的シフト運用による時間外の減を行い、収入確保に努めました。

重点取組6 地域の身近な相談窓口として ネットワークを活かした活動

地域包括支援センターを受託し3年目となり、三職種の2ユニット導入により、様々な相談に対し、これまで以上に迅速、丁寧な対応と解決に努めました。

また、出前講座や、様々な行事に参加する等、気軽な相談窓口としての地域包括支援センターの周知を行ないました。

介護予防事業所では、今年度から本格始動した、新しい総合事業の対応を、市役所や関係機関と連携しながら、スムーズな移行に努めました。

■ 事業報告

平成 29 年度の各事業の実施状況について、次のとおり報告いたします。

重点取組 1 社会福祉法人としての機能強化

1-1 法人運営事業の推進

(1) 諸会議の開催

社協の基本理念や基本方針に基づいた活動、事業を計画的に展開するにあたり、役職員が法人組織としての使命や役割について、共通した目的や認識を持ち、社協運営事業を円滑に進めるため、諸会議を開催し、会務の運営を図りました。

① 理事会：計 8 回

区分	内容	実施日
第 1 回	○規程の一部改正について、平成 28 年度事業報告・資金収支決算の承認について他	平成 29 年 5 月 23 日
第 2 回	○会長、副会長の選任について、部会員の選任について、広報委員の選任について他	平成 29 年 6 月 6 日
第 3 回	○規程の一部改正について、平成 29 年度事業計画進捗状況について他	平成 29 年 6 月 19 日
第 4 回	○規程の一部改正について、資金収支補正予算（第 1 次）について	平成 29 年 8 月 31 日
第 5 回	○規程の一部改正について、資金収支補正予算（第 2 次）について	平成 29 年 12 月 6 日
第 6 回	○規程の一部改正について、定款の変更について、資金収支補正予算（第 3 次）について	平成 30 年 1 月 19 日
第 7 回	○地域福祉交流推進基金事業事業計画について、規程の制定について他	平成 30 年 2 月 14 日
第 8 回	○規程の一部改正について、資金収支補正予算（第 5 次）について他	平成 30 年 3 月 6 日

② 監査：計 2 回

区分	内容	実施日
第 1 回	○平成 28 年度事業報告及び決算等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項及び業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項及び業務	平成 29 年 5 月 15 日
第 2 回	○平成 29 年度上半期事業報告および経理状況	平成 29 年 11 月 14 日

	等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項および業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項および業務	
--	--	--

③ 評議員会：計4回

区分	内容	実施日
第1回	○平成28年度事業報告・資金収支決算の承認について他	平成29年6月6日
第2回	○定款の変更について	平成30年1月26日
第3回	○地域福祉交流推進基金事業事業計画について、定款の変更について他	平成30年2月16日
第4回	○平成30年度事業計画、平成30年度資金収支予算について他	平成30年3月13日

④ 市福祉保健部・市社協社会福祉事業調整協議会：計4回

区分	内容	実施日
第1回	○ふれあいセンターこうだ指定管理・譲渡及び修繕、生活支援体制整備事業の見直し他	平成29年4月19日
第2回	○平成30年度予算編成について、社協から市への要望等について	平成29年10月24日
第3回	○平成30年度事業計画、予算編成協議進捗状況について	平成29年11月7日
第4回	○平成30年度事業計画、予算編成協議進捗状況について	平成29年11月15日

⑤ 総務部会：計3回

区分	内容	実施日
第1回	○第1回理事会提出議案についての審議他	平成29年5月16日
第2回	○第5回理事会提出議案についての審議他	平成29年11月30日
第3回	○第8回理事会提出議案についての審議他	平成30年2月28日

⑥ 介護保険事業関係部会：計3回

区分	内容	実施日
第1回	○第1回理事会提出議案についての審議他	平成29年5月17日
第2回	○第5回理事会提出議案についての審議、各事業所進捗状況等について他	平成29年12月1日
第3回	○第8回理事会提出議案についての審議、各事業所進捗状況等について他	平成30年3月2日

⑦ 広報委員会：計3回

区 分	内 容	実施日
第1回	○社協だより「第54号」掲載内容について	平成29年6月30日
第2回	○社協だより「第55号」掲載内容について	平成29年9月4日
第3回	○社協だより「第56号」掲載内容について	平成29年12月5日

⑧ 理事全員協議会：計2回

区 分	内 容	実施日
第1回	○第4回理事会提出議案についての審議、事業進捗状況について、役員会務等の年間計画について他	平成29年8月25日
第2回	○第6回理事会提出議案についての審議	平成30年1月17日

⑨ 生活福祉資金貸付審査会

開催実績なし

⑩ 福祉委員説明会

今年度の福祉委員に、福祉委員制度、社協の事業について理解していただき、協力を得るため、説明会を行ないました。

日 時：平成29年7月28日 10:00～

場 所：クリスタルアージュ 4階 小ホール

内 容：地域福祉の推進に向けて

市社協の取り組み、既存事業および新規事業の内容報告

参加者：39人

⑪ 苦情解決に関する処理要綱の第三者委員会

開催実績なし

⑫ 役員等選任委員会関係

区 分	内 容	実施日
第1回	○役員選任基準について	平成29年5月25日
第2回	○理事・監事の推薦について	平成29年6月1日

1-2 社会福祉従事者の育成

篠山市社協へ生活支援体制整備に関する取り組み状況について視察し、役職員共に今後の運営に研鑽を深めました。また、キャリアアップ助成金を積極的に活用し、職員全体の資質向上に努めました。

区 分	内 容	実施日
役員・評議員等研修	○篠山市社協視察研修会 10名	平成29年7月13日・14日
職員研修	○職員全体研修（年10回） ○その他県社協主催事業別研修など	平成29年4月27日から平成30年1月25日まで10回 随時

1-3 施設指定管理の受託運営

安芸高田市から4施設の指定管理委託を受け、地域の福祉拠点として、多様化する住民ニーズに対応した場として運営ができるよう、設備の維持管理等を行いました。

管 理 施 設	延利用団体数	延利用者数 (人)
保健センター	248	5,076
吉田老人福祉センター	270	2,680
ふれあいセンターいきいきの里	318	3,212
ふれあいセンターこうだ	271	4,009
合 計	1,107	14,977

重点取組2 福祉のまちづくりをめざして

ネットワークを活かした活動

2-1 地域福祉のネットワークづくり

(1) 社協ネットワークの構築

広報やホームページでの啓発や役職員による戸別訪問、チラシを配布し、積極的に声掛けを行ない、社協会員の加入促進を図りました。

①社協会費納入（集計金額 平成30年3月31日現在） [単位：円]

	戸別会費	賛助会費	団体会費	合 計
吉 田	1,360,500	33,000	168,000	1,561,500

八千代	564,500	30,000	129,000	723,500
美土里	438,500	6,000	45,000	489,500
高 宮	562,500	7,000	60,000	629,500
甲 田	685,000	27,000	105,000	817,000
向 原	676,000	11,000	36,000	723,000
市 外		2,000	42,000	44,000
合 計	4,287,000	116,000	585,000	4,988,000

②会員加入状況（平成30年3月31日現在） [単位：件]

	賛助会員	団体会員
吉 田	33	56
八千代	30	43
美土里	6	15
高 宮	7	20
甲 田	27	35
向 原	11	12
市 外	2	14
合 計	116	195

重点取組3 団体支援や講習会などを行ない

つながりあるまちづくり

3-1 福祉関係組織の活動支援

(1) 日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区事務事業

災害救護・救急法講習・AED（自動体外式除細動器）の普及など健康と安全を守る活動や、看護師養成・血液事業・医療事業の推進に活用させていただくため、活動資金（会費）の募集を行ないました。また、平成29年7月5日からの大雨災害義援金を取扱い、県支部を通じて被災地へ届けることができました。

区 分	内 容	実 施 時 期
戸別会費	○福祉委員へ依頼通知 500円/戸	平成29年5月1日～ 平成30年3月31日

①会費納入

〔単位：円〕

	一般会費	世帯数	納入世帯数	納入率
吉田	1,282,000	3,995	2,562	64.1%
八千代	546,500	1,245	1,111	89.2%
美土里	437,500	966	863	89.3%
高宮	569,500	1,301	1,135	87.2%
甲田	672,200	1,714	1,418	82.7%
向原	675,000	1,515	1,350	89.1%
合計	4,182,700	10,736	8,439	78.6%

②災害義援金受付状況

〔単位：円〕

義援金・救援金名	受付期間	義援金
東日本大震災義援金	平成28年4月1日～ 平成31年3月31日	1,552
平成28年熊本地震災害義援金	平成28年4月15日～ 平成31年3月31日	29,447
平成29年7月5日から の大雨災害義援金	平成29年7月7日～ 平成30年9月28日	494,528



③災害、火災等への支援協力

〔災害支援〕

災害発生日	地域	状況	毛布	緊急セット	バスタオル	寝衣大	寝衣小	学用品
平成29年4月3日	高宮	全焼	1	1	1	1	0	0

④赤十字講習会

〔実績表〕

〔単位：回〕

AED	救急法	災害時高齢者生活支援講習	健康生活支援講習会	幼児安全法	合計
0	1	0	0	0	1

(2) 安芸高田市共同募金委員会事務事業

さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む住民団体やグループ等を支援する仕組みとして、また、住民のやさしさや思いやりを届ける運動として、「じぶんの町を良くするしくみ。」をメインテーマに赤い羽根共同募金運動を行ないました。

①運営委員会：計2回

区分	内容	実施日
第1回	○平成28年度事業報告・決算の承認について ○運営委員・監事・審査委員の選任同意について	平成29年6月30日
第2回	○平成30年度事業計画・会計予算について	平成30年2月15日

②審査委員会：計1回

区分	内容	実施日
第1回	○平成29年度地域助成金事業審査について	平成29年8月7日

③募金実績（集計金額 平成30年3月31日現在）

〔単位：円〕

	戸別募金	法人募金	職域募金	街頭・イベント募金	その他	歳末	学校	合計
吉田	1,360,000	92,849	279,850	38,957	16,905	0	0	1,788,561
八千代	564,000	17,000	51,550	65,868	3,000	0	0	701,418
美土里	439,000	35,000	43,350	15,207	2,000	0	0	534,557
高宮	560,500	37,000	90,550	42,588	5,000	0	0	735,638
甲田	698,700	52,649	72,900	56,448	15,000	0	0	895,697
向原	665,500	32,000	73,850	31,316	173	0	0	802,839
市外					0	0	0	0
合計	4,287,700	266,498	612,050	250,384	42,078	0	0	5,458,710

(3) 共同募金配分金事業

市民の皆さまにご協力いただいた募金は地域福祉充実のために活用しています。

①社会福祉協議会事業への配分

- ・ふれあいサロン事業
- ・成年後見事業
- ・配食サービス事業
- ・地域福祉事業
- ・小地域のお茶の間づくり事業

②地域助成事業配分

- ・市内の地域住民で組織する6団体へ総額411,940円の助成

③共同募金委員会運営



重点取組 4 笑顔あふれる地域づくりをめざして

ともに支えあう地域福祉事業

4-1 ボランティア活動の推進と援助：ボランティア活動事業

ボランティア情報の収集と発信、関係分野の団体等と協働による活動ニーズの把握、ボランティアコーディネート業務、ボランティアに関する人材の養成、ボランティアの情報交換の場の提供などによりボランティア活動を進めました。

(1) ボランティアの発掘・育成

① 「ぷちボランティアスクール」

若い世代がボランティア体験を通じて、共感すること、自分自身が大切な存在であること、社会の一員であることを実感しボランティア活動に参加するきっかけづくりとして開催しました。

期 間：平成 29 年 7 月 26 日～8 月 24 日

対象者：市内の中学生・高校生

参加者：36 人

内 容：ワークショップ・活動（施設活動・ゴミ拾い等）・ふり返り



② 「福祉・介護・出前講座」

地域の住民の集会等において、福祉及び介護に関する知識や情報を収集することを支援するため、市社協職員又は市社協が認める外部組織の講師を派遣し、福祉・介護の出前講座を行ないました。

〔実績表〕

	講座回数	受講者数
認知症	11	149
うつ病予防	0	0
薬と健康の管理	2	23
高齢者疑似体験	4	76
車いす体験	4	81
レクリエーション	8	98
転倒予防	2	23
福祉・介護制度	3	40
高齢者の生き方	1	13
終活を考える	3	43

保存版 みんなで学ぼう！

福祉・介護 出前講座

この講座は、福祉や介護に関心をお持ちいただくためのきっかけづくりや、地域での福祉活動にお役立ていただくことを目的としています。

社会福祉法人
安芸高田市社会福祉協議会

災害支援	0	0
合 計	38	546

(2) ボランティアに関する情報提供・斡旋紹介・登録・相談等

社協ホームページやお太助フォンを活用して情報提供を行なうほか、ボランティアニーズの斡旋紹介や各種相談に応じました。

[実績表]

	登録者数 (人)	登録団体数
吉 田	93	2
八千代	7	1
美土里	153	13
高 宮	102	8
甲 田	10	0
向 原	3	0
合 計	368	24

活動内容：施設ボランティア（デイサービス手伝い、小物作りなど）・ふれあいサロン・育児ボランティア・環境保全ボランティア（花植え・ゴミ拾いなど）・配食ボランティア・朗読ボランティア・手話ボランティアなど

(3) 各関係機関との連携

各関係機関との連携を図りながら、ボランティアニーズの把握や情報共有等を行ないました。

①会議開催

1) 安芸高田市ボランティア連絡協議会

[第1回]

日 時：平成 29 年 6 月 7 日 10：00～11：45

内 容：平成 28 年度事業報告・決算について
平成 29 年度事業計画・予算について
ボランティア交流活動について

出席者：5 人

[第2回]

日 時：平成 29 年 8 月 30 日 13：30～15：00

内 容：ボランティア交流活動について

出席者：5人

②交流活動

日 時：平成29年9月30日 9:00～12:00

内 容：向原町丸山公園周辺の清掃活動と会員交流

参加者：46人

③ボランティア派遣

日 時：平成29年10月7日 9:30～14:30

場 所：吉田運動公園

内 容：安芸高田市身体障害者グラウンドゴルフ大会の協力

派遣数：12人

④ボランティア講演会

日 時：平成30年2月24日 13:30～15:30

内 容：演題「緊急・災害時にも役立つ地域づくり」

講師 ローカリズム・ラボ

代表 井岡 仁志さん

参加者：54人

4-2～4-5 住民主体による地域福祉活動の推進

4-2 地域福祉活動の推進：地域包括ケア推進事業

(1) 協力体制の構築と組織化の整備

地域包括ケアシステム構築のための、基盤整備を実施していくうえで、常設型サロン等、地域の拠点づくりのための、協力者の要請及び協力体制の整備について協議を行いました。その結果、常設型サロンにつながりました。

対象地域：甲田地域・八千代地域・向原地域

○甲田地域（小田東地区）

1) 日 時：平成29年4月12日 13:30～15:00 10名参加

場 所：ふれあいセンターこうだ

2) 日 時：平成29年5月25日 13:30～14:10 5名参加

場 所：ふれあいセンターこうだ

○八千代地域（佐々井地区）

1) 日 時：平成29年7月12日 9:30～11:30 3名参加

場 所：社協八千代支所

2) 平成29年8月22日 13:30～15:00 13名参加

- 場 所：八千代人権センター
 ○向原地域（保垣地区）
 1) 日 時：平成 29 年 7 月 25 日 18：00～18：45 10 名参加
 場 所：保垣地区生活改善センター

（2）見守り体制の構築

お太助フォンを活用した「元気コール」で、週に 1 度、一人暮らし高齢者や障がい者などの健康状態の把握、安否の確認を行ないました。安否確認が取れない時、身体の異常等があった場合等、変化を察知した際は、速やかに支援ワーカーを通じ、社協職員と連携し、自宅訪問や必要なサービスへつなげるなど対応しました。

対象地域：八千代町、甲田町

〔実績表〕

〔元気コール利用世帯数〕		（単位：世帯）
八千代	甲 田	合 計
11	26	37

〔元気コール発信回数〕		（単位：回）
八千代	甲 田	合 計
50	51	101

〔生活支援ワーカー数〕		（単位：人）
八千代	甲 田	合 計
9	2	11

（会議の開催）

1. 日 時 平成 30 年 2 月 26 日（月） 9：30～11：30
2. 場 所 八千代人権福祉センター 機能訓練室
3. 内 容 元気コールについての協議および意見交換
4. 参加者 8 名

1. 日 時 平成 30 年 2 月 26 日（月） 13：30～15：30
2. 場 所 ふれあいセンターこうだ 機能訓練室
3. 内 容 元気コールについての協議および意見交換
4. 参加者 2 名

（3）情報収集

地域に住んでいる高齢者等（概ね 75 歳以上）の把握、また、その高齢者

等が、現在どのような状況で、災害時、緊急時等の支援が必要か、世話人より情報を収集し、併せて見守り地図及び要支援者名簿を作成しました。

向原保垣地区では、この情報を基に、お茶の間事業（たかのすカフェ）への参加呼びかけや、日頃からの声掛けなどにつなげていくよう再確認しました。美土里地域では、登録訪問員やお太助フォンからの情報を基に、昨年度作成した要支援者名簿の随時更新を行いました。

向原町保垣地区

1) 情報収集及び地図作成

- 1. 日 時：平成 30 年 3 月 20 日 15:00～16:00
- 2. 場 所：保垣地区生活改善センター
- 3. 参加者：10 名
- 4. 要支援者：18 名



美土里地域

1) 情報収集及び更新 年間随時

- | | | | | |
|------|------|-------|------|------|
| 要支援者 | 横田地区 | 122 名 | 本郷地区 | 65 名 |
| | 北 地区 | 66 名 | 生桑地区 | 90 名 |

(4) 他事業との連携

安心生活創造事業、小地域のお茶の間づくり事業、ふれあいサロン事業等にて、地域における支えあい、助け合いの仕組みづくりの重要性の説明を行い、理解と協力を求めました。

4-3 地域福祉活動の推進：ふれあいサロン事業

閉じこもり防止や、楽しく過ごせる場づくりとしてふれあいサロンを推進し、各サロンへの活動費を助成するほか、新規サロン開設や運営についての相談、ふれあいサロン代表者会議での情報提供等を行ないました。



〔活動実績表〕

	サロン数（うち新規数）	開催数	延利用者数
吉 田	9(2)	83	1,152
八千代	16	153	1,775
美土里	17(4)	98	1,569

高 宮	11	83	1,052
甲 田	27	277	3,156
向 原	19	168	2,960
合 計	99(6)	862	11,664

(1) サロン代表者会議

	開催数	延出席者数
吉 田	3	19
八千代	4	56
美土里	4	28
高 宮	2	12
甲 田	3	50
向 原	2	18
合 計	18	183

(2) サロン代表者説明会

日 時：平成 30 年 2 月 9 日 10：00～10:55（吉田町）
平成 30 年 2 月 7 日 13：30～14:20（八千代町）
平成 30 年 2 月 13 日 10：00～10:45（美土里町）
平成 30 年 2 月 16 日 9：30～10:30（高宮町）
平成 30 年 2 月 7 日 10：00～10:30（甲田町）
平成 30 年 2 月 8 日 13：30～14:20（向原町）

内 容：助成金の変更について

参加者：60 人

4-4 地域福祉活動の推進：ほほえみネット事業

暮らしの中のちょっとした困りごとを応援し合うお互いさま活動として、手伝いを必要とする利用者の相談を受け、手伝いをする協力員をコーディネートする等、助け合いのサービスを推進しました。

支援件数：277 件

協力員数：119 人

〔活動内容〕

内 容	活動件数
家事援助（掃除・調理等）	139
見守り・話し相手	49
粗大ゴミの搬出・ゴミ出し	41

買い物	17
薬の受取り	9
散歩の付き添い・犬の散歩	1
その他	21
合 計	277

(1) パンフレット作成

更なる事業の周知を図るため、新しくパンフレットを作成しました。利用者にはわかりやすく、見やすいよう作成し、幅広く事業を知ってもらうよう告知を行いました。

4-5 地域福祉活動の推進：障がい者地域生活アシスタント事業

障がいのある方が、地域のなかで安心して暮らすことができるよう、生活協力員と利用者との連絡調整を行ない、利用者のサポートを推進しました。また、事業に関する相談対応等行ないました。

〔実績表〕

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
利用者数	1	0	1	0	0	0	2
延支援回数	24	0	23	0	0	0	47
生活協力員	12	10	4	2	3	12	43

4-6～4-7 子育て支援の推進

4-6 子育て支援の推進：ファミリー・サポート・センター事業

仕事や急な用事のため、早朝や夕方、または休日などに子どもを保育できない保護者のため、子育てを応援して欲しい人（依頼会員）と子育てを応援してくれる人（提供会員）との連絡調整を行ない、両方を繋げ子育ての応援を行ないました。

支援件数：365件
 提供会員：57人
 依頼会員：50人
 両方会員：5人



〔支援内容〕

内 容	支援件数 (件)
学童保育・学校の送迎	144

保育施設までの送迎	96
保育施設の開始前や終了後の預かり	58
保護者等の短時間・臨時就労の預かり	35
学童保育の開始前や終了後の預かり	25
保護者等の急用の場合の預かり	4
学校の放課後の預かり	3
合 計	365

(1) 交流会

会員さん同士交流しながら顔見知りになることで、スムーズな支援につなげることと、育児や生活上の悩みなどお互いに話す機会を持ちました。

「第24回ファミサポ交流会」

日 時：平成29年8月11日 10:30～14:00

内 容：ふれあい、そうめん流し、水あそび、うちわ作り、
お店やさんごっこ、アンケート

参加者：提供会員1人、依頼・一時預り会員8人、子ども16人
他大人2人、ぶちボラ高校生3人 計30人

(2) 合同研修会

ファミリー・サポート・センター事業の提供会員・依頼会員と子育て支援センター事業の一時預り・病後児預り会員合同での研修会を開き、ポリ袋でできる非常食の調理実習と試食会、午後からアウトドア流防災ガイドのあんどうりすさんに、子育てグッズと防災グッズをイコールにして力むことなく普段から防災できるアイデア等を学びました。

「ファミリー・サポート・センター事業 一時預り・病後児預り事業合同研修会」

日 時：平成30年2月4日 10:30～15:30

内 容：非常食調理実習、試食会、ナチュラル防災講座

参加者：提供会員5人、両方会員1人、その他1人、子ども4人
計11人

4-7 子育て支援の推進：子育て支援センター一時預り・病後児預り事業

上の子の参観日や通院、美容院や仕事など急な用事で子どもを保育できない時、吉田支所内の保育室「ふわふわ」で一時的に子どもを預り、保育を行ないました。また、里帰り出産等での安芸高田市外からの登録、預りも行ないました。
 支援件数：482件
 会員数：167件



〔利用理由〕

内 容	利用件数
保護者の勤務の都合	177
私用	150
保護者の通院・体調不良	48
兄弟姉妹の行事の参加	33
リフレッシュ	33
家族の通院・健診等	22
買い物	6
美容院	6
就職活動	2
免許の更新・確定申告	2
試験勉強	1
冠婚葬祭・お見舞い	1
講習会・習いごと	1
合 計	482

4-8～4-11 地域における権利擁護の推進

4-8 地域における権利擁護の推進：福祉サービス利用援助事業かけはし

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者などの判断能力が不十分な方に対して、地域で生活を送ることができるよう、福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理、通帳・印鑑・証書等の預かりを内容とする福祉サービスの利用援助を行ないました。

[実績表]

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合計
登録者数	15	3	8	1	2	9	38
延支援回数	2,284	243	743	107	348	888	4,613
生活支援員	6	3	3	2	3	6	23

4-9 地域における権利擁護の推進：成年後見事業

判断能力が不十分な方の契約や財産管理を手助けする後見人を、法人で受任すると同時に、住民の皆さまの身近な相談所となるよう努めました。

[実績表]

	後 見	保 佐	補 助	合 計
受任件数	2	0	0	2
延支援回数	154	0	0	154

(1) ミニ講演会

住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことができるように、関係機関と連携を図るため、“かけはし”から“成年後見”への移行についてのミニ講演会を開催しました。

[ミニ講演会]

日 時：平成30年2月23日 10:30～11:40

演題：「制度移行のみきわめ ～事例から考える～」

講師：平岡社会福祉士事務所

社会福祉士 平岡 和子さん

参加者：20名

(2) パンフレット作成、配布

関係機関などに、事業説明及び周知するため、パンフレットを作成し、講演会、研修会等で配布しました。

4-10 地域における権利擁護の推進：認知症カフェ

(1) 認知症カフェ「あいちゃんのホッとするカフェ」

地域で生活している認知症の方や、家族、地域住民、医療や介護の専門職、認知症について関心のある方など、誰もが気軽に集まり、安心して交流を楽しむ場として開所しました。

1) オープニングセレモニー

日 時：平成 29 年 8 月 24 日 9：00～9：20

参加者：来賓 11 名、主催者 6 名、一般 38 名 計 55 名

2) 「あいちゃんのホッとするカフェ」

開催日：毎月第 3 木曜 9：30～11：30

場 所：安芸高田市ふれあいセンターこうだ

内 容：カフェ、相談対応、物忘れ相談プログラム等

[実績表]

延参加者数（人）	相談対応件数	物忘れ相談プログラム件数
124	5	19

4-11 地域における権利擁護の推進：資金貸付事業

資 金 名	平成 28 年度	平成 29 年度		
	年度末件数	新規貸付件数	償還件数	償還免除件数
1. 高額療養・出産費貸付資金				
(1) 高額療養費貸付資金	0	0	0	0
(2) 出産費貸付資金	0	0	0	0
2. 生活福祉資金				
(1) 生活福祉資金	6	0	3	0
(2) 緊急小口資金	5	0	1	0

4-12～4-16 身近な地域での住民のつながり

支えあい活動の推進

4-12 安心生活創造事業

一人暮らし世帯、高齢者・障がい者世帯が地域で安心して暮らせるための応援活動として、日常的に支援が必要な方に、地域住民が連携し、利用者宅へ巡回訪問する見守り活動および契約訪問による生活支援を行ないました。また、民生委員児童委員協議会等の関係機関とも連携し、支援対象者の把握も行ないました。



(1) 見守り活動および生活支援

生活・介護サポーター養成講座を修了した登録訪問員が、利用者宅へ巡回訪問する見守り活動および契約訪問による生活支援を行なうための連絡調整を行ないました。また、支援対象者の実態把握調査等の利用対象者としての利用申請手続きも行ないました。

〔実績表〕

	利用者数	訪問員数	巡回訪問 支援回数	契約訪問 支援回数	実態把握 調査数
吉田	55	86	1,179	0	3
八千代	24	46	401	8	12
美土里	50	47	1,083	67	5
高宮	41	56	995	42	16
甲田	40	75	1,108	11	12
向原	28	32	868	0	4
合計	238	342	5,634	128	52

(2) 地域の見守り体制

地域で安心して生活できるよう、配達時などに声かけや安否確認を行う、お太助協力店として、登録、活動していただきました。

〔お太助協力店登録数〕

吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	合計
31	8	10	15	19	12	95

(3) 関係機関との連携

民生委員・児童委員や行政、地域住民との連携を図りながら、支援が必要な方の発掘を行ないました。また、地域における課題等を情報共有するための協議会を開催しました。

日 時：平成 29 年 6 月 20 日 13：30～14：30（向原町）
平成 29 年 6 月 21 日 11：00～12：00（吉田町）
平成 29 年 6 月 21 日 13：30～14：30（八千代町）
平成 29 年 6 月 22 日 13：30～14：30（美土里町）
平成 29 年 6 月 23 日 11：00～12：00（高宮町）
平成 29 年 7 月 18 日 13：30～14：30（甲田町）

参加者：215 人

(4) 支援体制調整会議

登録訪問員の支援体制の協議をし、円滑な支援につながるよう調整を行いました。また、地域の情報を共有し支援が必要な方の発掘を行い、必要な支援へとつなげました。

日 時：平成 30 年 3 月 14 日 10：30～11：30（吉田町）
平成 30 年 3 月 14 日 14：00～15：00（高宮町）
平成 30 年 3 月 15 日 10：30～11：30（美土里町）
平成 30 年 3 月 15 日 14：00～15：00（八千代町）
平成 30 年 3 月 16 日 10：30～11：30（甲田町）
平成 30 年 3 月 16 日 14：00～15：00（向原町）

参加者：131 人

4-13 配食サービス事業

在宅の高齢者に対して、配食ボランティアが栄養バランスのとれた食事を定期的に配達し、あわせて安否確認や体調の変化の察知を行ない、次に繋がるよう推進しました。



[実績表]

	八千代	高宮	甲田	合計
登録者数	18	67	42	127
配食回数	98	48	51	197

配食数	256	688	493	1,437
-----	-----	-----	-----	-------

4-14 家族介護者リフレッシュ事業

在宅で介護している介護者を一時的に介護から解放し、心身のリフレッシュや精神的負担の軽減を図りました。

対象者：要介護2以上の高齢者の方等を在宅で介護している家族介護者

開催日：平成29年11月17日

場 所：呉市

内 容：酒工房せせらぎギャラリー三宅屋商店（見学）
呉ハイカラ食堂（昼食）

〔実績表〕

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
参加者数	13	6	0	1	8	3	31

4-15 生活・介護サポーター養成事業

少子高齢化に伴う高齢社会を見据え、地域住民と行政、各関係機関や団体が連携し、協働のまちづくりを推進するための人材養成を行ないました。また、講座内容を検討する会議等も行ないました。



(1) 養成講座

協働のまちづくりを推進するための人材養成を関係機関・団体と連携しながら、8月から9月の間で、4日間・12時間の講座を開講しました。

〔実績表〕

	吉 田	八千代	美土里	高 宮	甲 田	向 原	合 計
第12期 修了者数	4	0	0	2	4	3	13

(2) 連絡協議

養成講座ガイドライン（指針）や講座日程、また、養成講座で行なう内容等について、各関係機関・団体との協議を行ないました。

1) 高齢者と障がい者の地域生活を支える連絡会議

日 時：平成29年5月24日 13:30～14:30

内 容：養成講座ガイドライン（指針）について
養成講座日程について など
出席者：12人

2) 講義・実習内容検討会議

[第1回]

日 時：平成29年6月16日 13:30～14:30
内 容：養成講座ガイドライン（指針）について
養成講座日程について など
出席者：15人

[第2回]

日 時：平成30年3月7日 10:00～11:30
内 容：第12期生活・介護サポーター養成講座振り返り
出席者：11人

(3) 継続研修

生活・介護サポーター養成講座（第1期～12期）修了者を対象に、住民による高齢者等の見守り活動の強みを活かしたつながりづくり、地域づくりを推進するためのフォローアップ研修を行いました。

日 時：平成29年12月8日 13:30～15:00
内 容：「個人情報保護法に関する研修会」
講師：弁護士法人リーガルジャパン
弁護士 下宮 憲二さん
出席者：71人

4-16 小地域お茶の間づくり事業

常設的な拠点で地域課題を共有し、その地域課題を地域の中で解決できる仕組みづくりを構築し、高齢者等の日中の居場所づくりとして、新たに3地域で常設型のサロンを開所しました。

実施地域：美土里町横田地区(継続)

1) くつろぎハウス運営

開所日：毎週月曜・水曜・金曜
時 間：9:30～15:30
場 所：美土里高齢者コミュニティセンター

[実績表]

延開所日	延べ利用者数
149	2,535

実施地域：甲田町小田東地域（新規）

1) 関係者との協議

開催数：14回

内容：事業概要説明、開設に向けての協議

出席者：延べ89人

2) 小田東ひだまりサロン開所

開所：平成29年10月13日～

開所日：毎月第2・4金曜

時間：10:00～14:30

場所：ふれあいセンターこうだ

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
12	316



実施地域：八千代町佐々井地域（新規）

1) 関係者との協議

開催数：7回

内容：事業概要説明、開設に向けての協議

出席者：延べ79人

2) えがおサロンやちよ開所

開所：平成29年12月18日～

開所日：毎月第1・3月曜

時間：9:30～11:30

場所：八千代人権福祉センター

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
6	181

実施地域：向原町保垣地域（新規）

1) 関係者との協議

開催数：5回

内容：事業概要説明、開設に向けての協議

出席者：延べ24人

2) たかのすカフェ開所

開所：平成29年11月27日～

開所日：毎週火曜

時間：13:00～15:00

場所：向原町保垣地区生活改善センター

〔実績表〕



延開所日	延べ利用者数
14	291

4-17 地域保健福祉事業（吉田）

要介護者等の認定を受けていない市内の高齢者が地域住民と触れ合うことで、閉じこもり防止や高齢者の保健および福祉の向上を図ることを行ないました。

登録者数：276人

〔実績表〕

開催数(回)	延利用者数(人)
70	1,331

重点取組5 住み慣れた地域での安心生活を支える

専門的サービスの提供

国の動向から今後の方策として、多様な担い手による生活支援、運動・通いの場の提供、見守り等の体制づくりが必要とされています。平成29年度は個別支援から地域支援への展開として、困難なケースの支援を行なうとともに地域へ出向き住民への啓発活動も行ないました。

5-1 地域福祉事業

(1) 一般介護予防事業（げんき教室）

地域の集会所を拠点に、高齢者の介護予防活動を推進しました。専門職員が中心となり、教室ごとに地域性や参加者の身体的状況を考慮し、創意工夫を凝らしたメニューにより、生活機能の維持・向上に向けた取組みを行ないました。

- ①内 容：健康チェック、介護予防運動、認知症・うつ予防 など
- ②対象者：65歳以上、要介護認定を受けていない方、要支援認定を受けていてもデイサービス、デイケアまたは新しい総合事業通所型サービスを利用していない方
- ③開催日：月4回
- ④場 所：吉田老人福祉センター・ふれあいセンターいきいきの里
丹比生活改善センター・丹比西集会所
ふれあいセンターこうだ・山田集会所

高地ふれあい集会所・長屋集会所・火の谷集会所・北原集会所

[実績表]

	会場名	登録者 (人)	開催数 (回)	延参加数 (人)
吉田	吉田老人福祉センター	13	46	372
	ふれあいセンターいきいきの里	19	46	495
	丹比生活改善センター	17	44	570
	丹比西集会所	17	45	434
甲田	ふれあいセンターこうだ	18	45	523
	山田集会所	8	43	224
	高地ふれあい集会所	13	44	233
	長屋集会所	12	44	216
	火の谷集会所	9	44	250
八千代	北原集会所	11	42	286
合 計		137	443	3,603

5-2 介護保険事業：甲田事業所

(1) 訪問介護事業

住み慣れた地域での安心生活を支えるため、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。特定事業所加算を算定し、継続的に人材要件、体制要件（計画的な内・外部研修、定例会議等）を整え、事業運営を行ないました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	517	43	27,461,440

2) 介護予防【総合事業(みなし)含】

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	203	17	3,824,090

(2) 通所介護事業

居宅において、要支援・要介護状態にある高齢者を対象に、入浴や食事等の必要な援助、機能訓練の提供を行ないました。日々介護に携わっている介護者の身体的・精神的負担の軽減に努めるとともに、一人ひとりが持つ能力を十分に発揮

してもらえよう能動的音楽療法や軽度運動療法によるメニューを増やし、心身機能の維持向上や孤立感の解消に努めました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	636	53	44,429,963

2) 介護予防【総合事業(みなし)含】

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	203	18	6,625,970

5-3 障害者自立支援事業：甲田事業所

住み慣れた地域での安心生活を支えるため、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助を行ないました。

1) 障害サービス：居宅介護

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	25	2	719,480

2) 地域生活支援：移動支援

実績なし

5-4 介護福祉事業

(1) 介護保険対象外福祉用具貸出事業

社協の所有する福祉用具(車椅子、特殊寝台)貸出の提供を行なう事業であるが、現在、自費レンタル事業での貸出が主体となっており、今年度実績はなく平成 29 年 3 月末をもって廃止となりました。

(2) 車椅子 1 日無料貸出

各支所にある社協の所有する車椅子を一時的(1 日間)に必要とされる方へ無料で貸出を行うことで、通院や外出時等の便宜を図りました。

[実績表]

	吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	合計
利用者数	4	1	3	3	0	2	13

(3) 育児支援家庭訪問事業（受託）

育児支援が必要と認められる世帯に対し、訪問介護員が、家事等の支援を行なう事業であるが、市からの要請依頼はありませんでした。

(4) 訪問介護自費サービス事業

介護保険サービスでは対応できない内容において、訪問介護吉田事業所が相談を受け、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供を行ないました。

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	10	0.8	35,600

5-5 介護保険事業：吉田事業所・本所事業所

(1) 訪問介護事業

住み慣れた地域での安心生活を支えるため、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。特定事業所加算算定事業所として人材要件、体制要件（計画的な内・外部研修、定例会議等）を整え、事業運営を行ないました。

1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	497	41	26,809,690

2) 介護予防【総合事業(みなし)含】

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	221	18	4,033,628

(2) 居宅介護支援事業

日常生活の困りごとや介護に関する相談、介護認定申請の代行、居宅サービス計画書の作成、サービス提供の支援等を行ないました。主任介護支援専門員を配置し、定期的な事例検討会を持つことで質の向上に努め、困難事例の受入れや地域ケア会議へ積極的に参加し対策に向けて協議しました。また、地域支援活動を他機関の専

門職と合同で推進し、健康増進や終活への啓発活動に取り組みました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	2, 223	185	34, 532, 480

2) 介護予防

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	267	22	1, 184, 100

3) 要介護認定調査

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	156	13	505, 430

4) 困難事例対応

[実績表]

	困難事例受入数(人)	地域ケア会議出席数(回)
平成 29 年度	1	3

5) 地域支援活動 (町別)

[実績表]

	支援活動数 (回)	延支援活動数 (人)
吉 田	4	6
八千代	3	4
美土里	1	2
高 宮	3	5
甲 田	6	8
向 原	5	9
合 計	22	34

(3) 福祉用具貸与事業

心身の状況、生活環境を踏まえた適切な福祉用具の選定援助、取付け、調整等を行ない、福祉用具の貸出や販売を通して、日常生活上の便宜、介護負担の軽減に努めました。定期ミーティングにより内部の情報共有や社協各支所へ福祉用具の展示を行い拡充いたしました。自費レンタル対象者および対象品目を拡充しました。

1) 介護保険

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	2,544	212	30,981,055

2) 介護予防

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	1,345	112	9,307,220

3) 自費レンタル事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	242	20	695,150

(4) 福祉用具販売事業

全体(介護保険・介護予防・介護保険対象外等)

〔実績表〕

	延利用件数(件)	月平均利用件数(件)	収入額(円)
平成 29 年度	107	8	2,285,000

5-6 障害者自立支援事業：吉田事業所

住み慣れた地域での安心で自立した生活を支えるため、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助、外出支援を行ないました。

(1) 障害サービス：居宅介護

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	212	18	13,629,430

(2) 地域生活支援：移動支援

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	3	0.3	10,830

重点取組 6 地域の身近な相談窓口として

ネットワークを活かした活動

6-1 地域包括支援センター事業

(1) 総合相談業務（権利擁護相談含む）

介護や医療、福祉など様々な相談を受け、相談内容に応じて適切な関係機関と連携を取りながら、早期対応と問題解決に努めました。

また、様々な行事や地域活動に参加し、気軽な相談窓口として地域包括支援センターの周知を図りました。

相談者	件数
本人	63
家族	143
市役所	49
介護サービス事業所	101
病院	57
障害者基幹相談支援センター	2
社協	51
民生委員	42
福祉委員	0
近所	4
知人	8
事業者等	2
その他	9
合 計	531

相談内容	件数
在宅介護	32
公的福祉サービス	7
介護保険	380
認知症	16
福祉用具	10
住宅改修	2
公的サービス以外の社会資源	9
高齢者虐待	11
成年後見	1
消費者被害	0
アルコール依存等	5
行方不明	0
精神・健康問題	20
生活困窮	2
その他	36
合 計	531

相談方法	件数
電話	392
来所	107
訪問	16
その他（会議等）	16
合 計	531

(2) 権利擁護業務

虐待の早期発見・把握に努め、市役所や他機関と連携して早期解決に向けて対応しました。

消費者被害、成年後見制度の相談に応じ、情報提供や啓発を行ないました。

○高齢者の虐待状況等

項目	件数	備考
1) 相談・通報受理件数	11	
2) 相談・通報者		
虐待者		
家族・親族		
民生委員		
介護支援専門員等	8	
本人	1	
警察		
行政職員	2	
病院		
近隣 市民		
3) 事実確認調査の結果		
虐待と判断	8	
虐待ではないと判断	1	
虐待の判断に至らなかった	2	
経過観察・事実確認中等		
4) 終結	4	

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

高齢者におけるさまざまな問題を解決するために、関係機関と連携を図りながら支援を行ないました。

また、地域のケアマネジャー間のネットワーク作りを行ない、情報交換や後方支援を行ないました。



内容	回数
安芸高田市居宅介護支援事業所連絡協議会	12回 (月1回)
地域ケア会議	9回
小規模多機能運営協議会	27回 (9ヶ所)

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

要支援の方へ、自立支援のための介護予防サービス計画作成およびサービス提供の支援を行ないました。

認定調査を安芸高田市から受託し、介護支援専門員が家庭等を訪問し本人の心身の状態を調査しました。

①指定介護予防支援業務

		延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	直営分	2,916	243	12,780,800
	委託分	1,185	99	5,332,700
	小計	4,101	342	18,113,500
平成 28 年度	直営分	3,769	314	16,611,400
	委託分	1,623	135	7,171,000
	小計	5,392	449	23,782,400
差引増減	直営分	△853	△71	△3,830,600
	委託分	△438	△36	△1,838,300
	合計	△1,291	△107	△5,668,900

②介護予防ケアマネジメント

		延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	直営分	625	52	2,790,500
	委託分	435	36	1,971,700
	小計	1,060	88	4,762,200
平成 28 年度	直営分	0	0	0
	委託分	0	0	0
	小計	0	0	0
差引増減	直営分	625	52	2,790,500
	委託分	435	36	1,971,700
	合計	1,060	88	4,762,200

③認定調査

	延調査件数(人)	月平均調査件数(人)	収入額(円)
平成 29 年度	110	9	356,400
平成 28 年度	142	12	460,080
差引増減	△32	△3	△103,680

(5) 市との連携

様々な会議に参加し、常に市役所や関係機関等と情報共有や連携を図りました。
また、出前講座や多職種連携研修等で地域住民と関わりを持ち、関係作りに努めました。

①会議関係

内 容	回数
市との定例会議	7回
在宅死検討委員会	5回
安芸高田市虐待防止ネットワーク会議	1回
在宅医療・介護連携推進会議	3回
在宅医療・介護連携プロジェクト会議	9回
地域包括ケア推進会議	2回
地域包括支援センター運営推進協議会	1回
パイロット圏域支援事業会議	1回
障害者自立支援協議会	7回

③研修会・講演会

- ・介護予防講演会 1回
- ・多職種・連携研修会 3回
- ・市民公開講座 1回
- ・認知症研修会 1回
- ・青空の会 4回

(6) 出前講座・総合相談・健康ミニ講座

出前講座や社協支所において総合相談・健康ミニ講座を行い、地域包括支援センターの周知を図ると共に、様々な相談対応や健康についての啓発を行いました。

①出前講座

回数：計 14 回

対象：市民ふれあいサロン・老人クラブ 14 会場

内容：認知症予防・地域包括支援センターの役割

参加者：計 258 名

②総合相談・健康ミニ講座

会場：6会場

回数：72回

○相談内容：高血圧の健康管理・地域活動について・認知症予防について等

○健康ミニ講座：187人（延べ）

講座内容：認知症予防・うつや心の健康・高齢者の食事等

（7）研修会・講演会

・高齢者虐待対応研修会	4回
・認知症研修会	4回
・地域ケア会議・介護予防マネジメント研修会	4回
・成年後見制度研修会・講演会	3回
・緩和ケア研修会	3回
・芸北自殺未遂者支援対策研修会	3回
・地域包括支援センター職員研修	3回
・クレーム・苦情処理研修会	2回
・地域包括・在宅介護支援センター協議会研修会	2回
・消費者被害研修会	1回
・その他	22回